

高知県東部広域地域公共交通協議会 第6回総会 議事録(要旨)

〈日時〉 令和元年11月13日(水) 10時00分から11時15時まで

〈場所〉 安芸市健康ふれあいセンター「元気館」 検診待合ホール

〈内容〉

1 開会

(会長あいさつ)

当協議会は、昨年3月に設立し、県東部の南国市から東洋町まで11市町村を対象地域として、人口減少、高齢化社会が進む中、地域の公共交通を安心して利用できる、また将来にわたって持続可能なものとするため、どのような取り組みをしていかなければならないのか、ということで、ここにお集まりの委員の皆さまなどから多くのご意見を賜り、昨年4月から今年の3月まで約1年かけて、「高知県東部広域地域公共交通網形成計画」としてまとめ上げたところ。

当計画では、地域の公共交通が抱える様々な課題に対して、地域内外のそれぞれの移動ニーズに合わせた公共交通ネットワークの再構築、異なる交通モード間のスムーズな乗り換え、地域の観光を活かすための利用環境の改善、利用促進策の実施などを計画目標に掲げ、具体的には、既存バス路線網の改善、あき総合病院前駅(仮称)の設置、交通結節点での乗り継ぎの利便性向上、待合施設の環境整備など、色々な施策を取り込んでいくこととしている。

本日は、この交通網形成計画が3月に策定され、7か月が経ちましたが、現在の進捗状況の報告をはじめ、平成30年度決算、また補正予算のご審議そして承認をお願いするもの。

2 平成30年度事業・決算報告・監査報告

(事務局)

「資料1(事業・決算報告)」に沿って説明。

(監事)

「資料1(監査報告)」に沿って報告。全会一致で承認。

3 令和元年度第1次補正予算

(事務局)

「資料2」に沿って説明。全会一致で承認。

4 高知県東部広域地域公共交通網形成計画の進捗状況

(事務局)

「資料3（主要施策）」について説明。

(委員)

今年10月から甲浦線の路線再編を行っている。現在は、観光利用が多いが、今頃頃から利用者が減っている状況。

今年6月6日の高知県地域交通協議会東部ブロック会幹事会で決定し、本来は室戸高校への利用者を増やしていきたいと考えているが、夏休み等を挟み、9月からのアピールとなり、まだ室戸高校通学者の定期利用者は伸びていない状況。

今後、来年度に向け、東洋町から佐喜浜の中学校に路線の紹介を含め、定期券の増収を1枚でも増やしていきたい。

(委員)

全体的に、「△」の評価がされている。致し方ない部分もあるかと思うが、「○」にどう持って行くかが大事だと思う。

資料3には今後の進め方が書かれているが、次回の会議までに「○」となるのかが見えづらい。

質問だが、項目2について「新モビリティ推進事業は活用しない、今年度中に実証運行まで行うのが困難」とのことで、スケジュールがタイトなのはよく分かるが、Ma a S関係のアプリを開発したり、シームレスなものを目指して取り組んで行くことは、利用者にとっては利便性が上がることではないかと思うが、例えば次年度トライしてみようといった見通しがあるか。

もう1つは、課題として、「需要調査を検討します」とのことで、1日約9人の結果だが、これは需要ではなく、現状のサービスに対する利用者の実態と見るべき。需要というのは、ある場所からある場所へ移動をしたい人がどのくらいいるのかを調べること。今ないサービスに対して、どのくらいのレスポンスがあり得るか、といったものを調査するのが本筋。そういう意味では、定時定路線バスを運行させることが目的ではなく、空港に到着した人が、どういったところに行きたいのか知るのが第一で、そのために、どんなサービスが提供しうるか。その結果がMa a Sかもしれないが、そういう検討をしていくべきかと思う。今一度、記載のある「需要」というものをどのように考えているのか。

項目3について、次年度の流れをご説明いただいたが、資料に記載いただくと、皆さんが「○」になると実感できると思う。

(事務局)

項目2について、次年度トライするかは、まだ分科会の開催ができておらず、確認がで

きていない。

空港に到着した人がどこに行くのかを調査した方が良いのでは、というご意見について、空港に到着した人を、どう東部地域の公共交通に乗っていただけるようにするのか、ということが大事なポイントではないか、と考えている。

項目3については、(次回は)もう少しスケジュール的に分かるように記載したい。

(会長)

新駅については、今後の状況が見えづらいところもある。国の補助採択に向けて、今年度の要望も継続しつつ、来年度の補助事業の申請もしているということ。今年、採択されなくても来年度に向けて取り組んで行くという説明だったが、今年もし採択されないことになった場合、来年度の見通しはどのような感じか。

(事務局)

9月には、概算要求に上げていただいているとのことを、国土交通省鉄道局に確認をしている。今のところ、国の方から要望書類等の修正などの指示はないので、順調に進んでいるものと認識している。

今後、国から資料の提供を求められれば、即座に対応したい。今のところ特に問題はないものと思っている。

(副会長)

新駅について、国土交通省ヒアリングを進めており、感触は良いと思っている。ただ、今年度、国の予算残を当事業に充てていただくのは厳しいのではないかとと思っている。

やはり、来年度の予算獲得に向けて、国土交通省のヒアリングをきちんと行っていきたいと思っている。

仮に、国の予算が確保できた場合の今後のスケジュールについて、令和2年度に設計と工事を終わらせ、令和3年度からの開業スケジュールを目指している。

もう1点、空港からの新たな輸送方法の検討について、現在乗合タクシー利用者1日9人が実態。ただ、これまでの経過の中で、何度も、空港と後免を経由するバス路線や安芸を結ぶバス路線の実証運行などがなされてきたが、利用者が少なく採算が取れないとのことで、バス運行廃止や、実証運行が行われたのみで本格運行されていないエリアである。

この箇所について、新たな輸送方法の検討はしていきたいと思う。需要がどれくらいあるのか引き続き検討しながら、地元の南国市、香南市、交通事業者とMa a Sの導入ができるのかどうか、引き続き検討していきたい。

(委員)

実証運行された経緯がある、ということで、なぜ需要の掘り起こしができなかったのか、

あるいは、需要がそもそも無いのか、というところも定量的に示すべきと思っている。

現状で需要が無い場合、どうしたら利用者の需要を刺激できるか、今あるサービスを組み合わせていったらいい。色んな事例を見ながら、今ないものに対しての利用者の感度を科学的に評価することはできるので、そのあたりを検討いただければ。

(委員)

空港からの輸送方法について、課題の捉え方に違和感を感じている。冒頭の会長あいさつで、「地域の観光を活かすための利用環境の改善」とあったが、その観点で言えば、この課題は、今の乗合タクシーに替わるシステムや、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線に替わるシステム。

東部地域全体の観光の課題は、点在する観光資源をつなぐ2次交通が十分でないこと。だから、空港の利用客が増えているが、東部地域に十分に流れてきていない状況。

発想を変えて、県域での新たな観光施設や体験メニューをつなぐ無料の送迎システムができれば。例えば、予約した人を無料で送迎できるシステムができるとすれば、空港へ来る人が東部地域に来る潜在需要はあるので、自然と空港からの移動手段を活用して東部地域に流れてくる人が増えるのではないか。

幡多の方も併せ、圧倒的な空港利用客をどう引っ張ってくるか。非常に関心のあるところ。

(委員)

項目2について、のいち駅を訪れた観光客が、西へ行ったら良いか東へ行ったら良いか迷われるときがある。こういったときは東を勧めている。

また乗合タクシーについて、お客様から「空港へ行きたい」という声をいただく。その場合、乗合タクシーという制度がある、といった案内をさせてもらっている。周知されていないのが問題だと思っている。

お客様に勧める際には、1人の場合は得をするが、2人の場合は通常のタクシー料金とあまり変わらず、3人乗ると損をする、とお伝えしたいと思う。

(会長)

現状の乗合タクシーでも色々課題があると思う。そういったことも含め検討していただきたい。

(事務局)

「資料3（補助施策）」について説明。

(委員)

3ページの「地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図の作成」について、今年度末までに作成予定としているが、作成主体は。

(事務局)

作成主体は、高知県東部広域地域公共交通協議会。事務局で原案をお示しし、委員の皆さまにも確認いただく形になると思う。

(委員)

今年度末までに作成予定ということは、費用もいると思うが、当初予算に反映されていないのではないかと。

(事務局)

費用については、四国運輸局と協議を進めているところ。結果によっては、書面開催になるかもしれないが、第2次補正予算をお示しさせていただく可能性もある。現在のところ国庫補助について調整中。

(委員)

パーク&ライドについて、一昨年9月から順次整備を進めている。現在20台分が稼働している。今年のごめん・なはり線の運輸収入の見込みは前年比でマイナス1.2%の見込み。一方、通勤定期の利用者は対前年度比で1.2%の増加が見込まれている。これは、のいち駅のパーク&ライドの拡充も影響があると思われる。やはり、ニーズの多いところに整備できると収入に直結する。

もう一点は、とさくろシニアパスについて。利用促進には、まず高齢者の利用を拡げていくことが欠かせないのではないかと考えている。これまで、高齢者の方の割引制度は免許返納者を対象とした割引制度しかなかったのが実態。

とさくろシニアパスは今月から販売を始めた。65歳以上の方を対象にした定期券であり、通勤定期の半額程度と、当社としても大胆な料金設定としている。

中村・宿毛線では先行販売を行っているが、潜在需要はごめん・なはり線の方があのでは、と考えている。

(会長)

質問だが、例えば210円区間は、区間で区切った定期であるか。指定駅でしか利用できないのか。

(委員)

指定駅でしか利用できない。

(委員)

「路線図の作成」と「情報提供サイトの一元化」は大変賛成している。是非進めたらいいと思うが、ゴトゴト web について、時刻表・運賃が検索できる。こういった情報を、コミュニティバスや路線バスにも導入するのか。

先ほど主要施策で出されたアプリに関して、ゴトゴト web を改良して、行き先の検索などを行う事は可能か。

(事務局)

まずは、路線図でお示ししたい。コミュニティバスの時刻は見直しがあるので、その都度マップの改正をしていかななくてはならなくなる可能性があるため。

ホームページをどこまで改良していくか、まだ具体的には検討できていないが、できる範囲で対応できれば、と考えている。

(委員)

空港アクセスと連携して考えるということであれば、アプリ開発の予算があると分かっている。検討を進めていただき、(国庫補助) 予算を活用していければと思った。

もう1点、土佐くろしお鉄道、のいち駅、安芸駅の多大なご協力で、先日学生がアンケートを行い、どのくらいの料金で公共交通に乗るか調査した。報告をこの場でできればと思っている。

地元の高校生が大変協力的で、80名ほど集まった。速報的に説明すると、高校生に、どのくらいの月額金額にしたら公共交通乗り放題券を購入するか質問したら良い結果が出た。一方で、タクシーも乗り放題にしたらどうするかと質問したが、タクシーは興味が薄かった。生徒も、料金の設定をすると、一定の反応は示すことが分かってきた。

こういったアンケートも連携して進めていければ。

5 その他

(委員)

東部地域の2次交通が十分でない課題があるということは、高知県東部観光協議会の理事会においても話があがっている。

高知県東部観光協議会に、民間レンタカー会社から話があり、例えば安芸駅にレンタカーを設置するシステムを作れるかどうか協議を始めた。実現するかは分からないが取り組みを始めたところ。

6 閉会

次回、来年3月に開催予定。